



# 学校だより

東京都立府中けやきの森学園  
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1  
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476  
http://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp  
令和6年7月19日(金)発行 第5号

## 夏休みを前に ～地域社会とのつながり～

副校長 宮本 光司

7月に入り暑い日が続いていますが、各御家庭では子どもたちの体調管理に心を配ってくださり、ありがとうございます。明日から夏季休業日が始まります。

### ◆学校運営連絡協議会から

本校では、地域や関係機関の方から意見をいただく会議があります。「学校運営連絡協議会」、「学校保健委員会」、「防災教育推進委員会」等です。この内、「学校運営連絡協議会」の委員は、大学教授、民間企業、療育機関、保健所、福祉施設、就労支援機関、就学前教育、近隣の学校、本校PTA、といった様々な分野の方々です。第1回の協議会では、知的障害教育部門高等部の作業学習の授業を参観し、意見や助言、質問をいただきました。

〈助言〉WHOによるとウェルビーイングの鍵は、心・身体・社会である。学校でも参考になると思う。

〈質問〉けやきの森の外部専門家に施設職員の研修を行ってもらっている。地域支援の状況を知りたい。

〈助言〉ウェルビーイングのような言葉は、保護者が理解できるように伝えていくことが大切である。

〈意見〉見学者が来ても生徒たちは落ち着いて作業に取り組んでいた。社会に出ていく生徒を育てていることを実感した。

〈意見〉学習を通して物を作り出すことができている。子どもたちは、何かを生み出す喜びを感じていると思う。

〈意見〉整理された静かな環境で学習に取り組んでいる。教員の言葉かけも穏やかでよい。ぜひ継続を。

〈助言〉ウェルビーイングの視点から児童・生徒を見ると、今後何が必要になるかが見えてくるはずである。

新たな視点からの御指摘も多く、いただいた御意見等を踏まえ、さらに改善を進めてまいります。

### ◆夏休み中のスポーツ大会から

肢体不自由教育部門パラスポーツ部は、「全国ボッチャ選抜甲子園」の地区予選を勝ち上がり、2年連続で全国大会への出場を決めました。8月10日(土) 墨田区体育館、日本一を目指す真剣勝負の大会です。

その他にも、7月27日(土) ボッチャ CIAO カップ、8月24日(土) 小学生ボッチャ競技会に児童・生徒が参加します。知的障害教育部門サッカー部は、7月26日(金)にフットサルの全国大会に出場します。ボッチャもフットサルも、初めての場所、初めて会う人たちとの試合ですが、皆、のびのびと力を発揮してほしいと思います。

## 問合わせ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日(午前8時30分から午後5時まで) 042-367-2511 (学校の代表番号)

## 野菜づくりから学ぶこと (肢体不自由教育部門 高等部)

学部主任 平田愛子

青空のまぶしい季節となり、肢体不自由教育部門高等部で育てている野菜たちは収穫の時期を迎えました。

【A、B1グループ】主体性と協調性をテーマに土づくりから栽培、収穫、調理を全て自分たちで行いました。本やスマートスクール端末を使って「春から夏にかけて育てやすい野菜」を調べ、その野菜の良さをプレゼンし、多数決を取って育てる野菜を決めました。野菜の様子を観察し、植物の元気がないときは水やりの頻度を増やしたり、追肥を行ったりしました。害虫や病気対策にはコーヒースプレーや重曹スプレーをかけたり、米ぬかトラップを設置したりと、自分たちで対策を考えました。

【B2、C1、C2グループ】トマト、イチゴ、オクラ、ピーマン、きゅうりなど、様々な野菜を育てています。徐々に育っていく様子を、触ったり匂いを嗅いだり写真に撮ったりして、よく観察しています。最初は実感が湧かない様子の生徒もいましたが、繰り返すことでできることが増え、雑草を抜いたり水をあげたりすることにも主体的に取り組めるようになりました。いよいよ実ができると一気に実感が湧くようで、収穫した野菜を大事そうに触っている姿が印象的でした。実が鳥に食べられてしまう危険性に気付いたグループはかかしを作って対策をしました。生徒の実態に応じて野菜を育てる楽しさを味わっています。収穫した野菜は随時持ち帰りますので、どうぞ楽しみに待っててください。



## 社会全体に支えられた学び (知的障害教育部門 高等部)

<1年生>

学年主任 安仁屋 政秀

7月2日(火)立川市にある東京グローバルゲートウェイグリーンズプリングス(体験型英語学習施設)に行きました。室内の壁に投影されたお店やアクティビティなどの映像に囲まれた空間で、外国人スタッフと会話やコミュニケーションを楽しみ、雰囲気を楽しむことができました。これからも様々な教育活動を通じ、生徒の皆さんが生き生きと成長する姿を期待しています。



<2年生>

学年主任 平 貴子

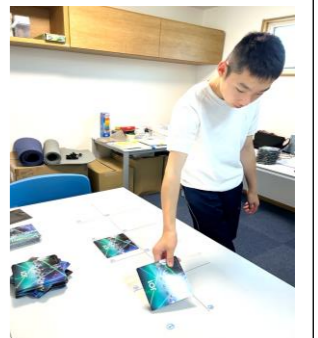
5月から6月にかけて「就業体験」を実施しました。体験前に行き先や仕事の内容等、事前に学習をし、見通しをもってそれぞれが体験に臨みました。今回の就業体験をとおして、卒業後の自身の進路について考えるきっかけとなりました。2学期の現場実習に向けて引き続き学習を積み重ねていきます。



<3年生>

学年主任 山本 博美

5月からそれぞれの希望に応じた実習先で「産業現場での実習」に臨みました。進路先を決定していく1年になりますので高い意識をもって取り組むことができました。今回の実習で得た成果と課題を本人と学校でしっかり把握し、今後の授業や「産業現場での実習」に活かしていきます。



校内では1学期のまとめとして学年全員で学習成果の確認をしました。自分の持っている力を存分に発揮して相手に伝えることができました。

## くぬぎ分教室の栽培活動

分教室主任 片岡 雅彦

くぬぎ分教室では1学期、ジャガイモの栽培に取り組みました。分教室には畑はないので袋栽培で育てました。種芋を植えるとすぐに芽が出て茎が伸びてきました。水やりはスイッチで動かせる水やり装置を使って行い、押しボタン、棒、ピエゾなど、それぞれの児童・生徒が得意なスイッチを使いました。自分が働きかけることで水がシャワーのように出てくると、楽しそうに何度も繰り返してスイッチ操作を行っていました。

ジャガイモがたくさんできるように根元に何度か土を入れも行いました。水やりと土入れの作業を繰り返していると、6月には茎が大きく伸び、葉もたくさんついて、花もわずかに咲きました。そして、葉が黄色く枯れたようになるのを待ち、いよいよ収穫です。

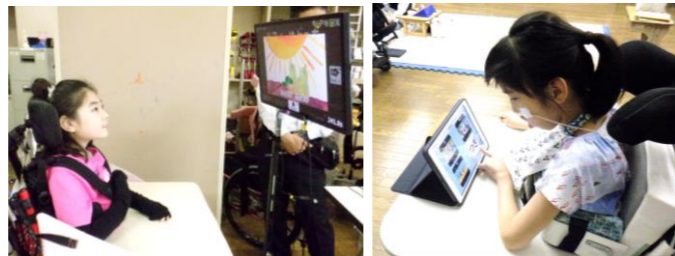
袋を縦に切り、土の中が見える状態にしてからスコップで少しずつ土を削ります。ドキドキしながらスコップを持つ手を動かすと、ついにジャガイモが現れました。結果は、大豊作。とれたてのジャガイモはスライスして電子レンジにかけ、原材料ジャガイモだけのポテトチップスを作り、日頃お世話になっている方々にプレゼントし、召し上がっていただきました。

## 自分で選ぶ（肢体不自由部門 小学部）～ICT教育の推進～

ICT教育推進担当 石本 朋子

「自分で選ぶ」ということを課題の一つにしている児童にとって、ICT機器は選んだ結果が分かりやすく、他者にも伝わりやすい教材です。例えば、視線入力装置を練習する児童は、画面に映った選択肢を目線で選んでいます。一つの物を注視することで「自分で選んだ」「自分の行動で予想通りの展開に変わった」という経験を、楽しみながら積み重ねています。一人1台端末のアプリを使用し、聞きたい歌を指先でタップしたり、スクロールしたりして選ぶ児童もいます。選んだ歌が流れると満足そうな表情を見せています。

子ども達一人一人の興味や表出方法に合った教材で、引き続き学習を積み重ねていきます。



## 生活単元学習における循環型栽培学習（肢体不自由部門 中学部） ～堆肥プロジェクト～

堆肥プロジェクト 吉田 久明

肢体不自由教育部門中学部では、堆肥を触ったり匂いを嗅いだり、堆肥ができるまで等を学習しました。触った生徒達は、堆肥独特の柔らかいようで硬い触感を楽しみました。学習に使った堆肥は、グループごとに野菜を栽培しているプランターに満遍なくまぶし、たっぷりと水をあげました。あとは野菜が大きく育つのを待つばかりです。



## 夏季休業日の生活について

生活指導部主任 梅景 靖之

### ◆安全に過ごすために

- 1学期は各行事を中心に安全指導を重ねてまいりました。御家庭でも再度確認をお願いいたします。
- 一人で外出する時は、保護者に必ず行き先や同行者、帰宅時間、連絡方法等をきちんと伝える。
- 自転車で外出する場合は、交通ルールを守り、交通事故の防止に努める。
- 海、山、プール等での事故を防ぐため、予め危険な行為等について確認する。
- 暴力行為、万引き等、飲酒・喫煙、異性トラブル、無断外泊、深夜徘徊など非行や犯罪等の未然防止に努め、社会の基本的なルールを確認する。
- パソコン、携帯電話、スマートフォン等の情報機器の適切な利用方法を確認する。
- 犯罪や事件事故に巻き込まれないよう自ら危険回避する力をつける。※「いかのおすし」を繰り返し教え、いざという時の危険回避の具体的な方法について改めて御確認ください。

### ◆何か気になる様子が見られたら

児童・生徒、そして保護者の皆様も悩みを抱えないで、学校に連絡や相談、または相談窓口等へ御相談ください。東京都では、児童・生徒の学校生活をはじめ、友人関係や家族との関係など、不安や悩みがあるときの相談窓口を各種設置して対応しています。本校のホームページ（学校生活＞生活指導）にも相談窓口の一覧などの情報を掲載しておりますので、御参照ください。

## セーフティ教室 ～自分の身を守る行動について～

生活指導部 鶴澤 翔

6月24日から7月5日の期間で各教育部門において「セーフティ教室」を実施しました。府中警察署のスクールサポーターの方に御協力をいただいて、登下校時に遭遇する危険とその回避方法や、日頃の生活の中に潜む危険について学びました。実際に声を掛けられた時のことを想定したロールプレイを行い、自分の身を守る行動やSOSの出し方など、体験をすることができました。他にも、スマートフォンや携帯電話の使用するときの危険やSNSに関するトラブル、サイバー犯罪などについても学ぶ機会を設けました。1学期に行われた「交通安全教室」や「セーフティ教室」で学んだことや以下のことに留意して、夏季休業日中を安全に、そして有意義にお過ごしください。

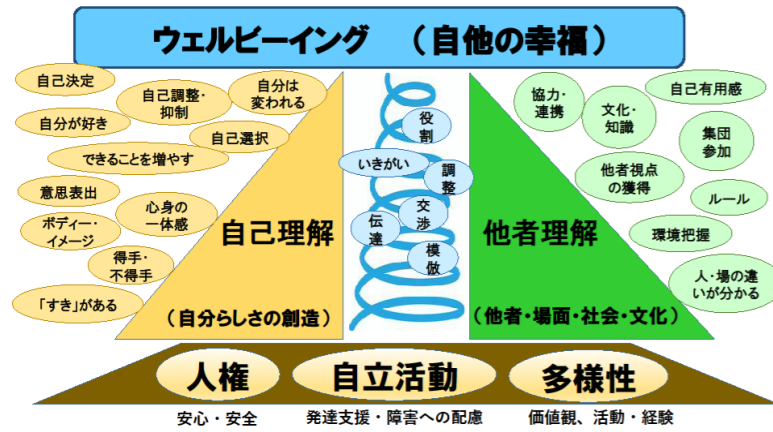
## いかのおすし

ついていかない  
くるまにのらない  
おおごえをだす  
すぐになげる  
おとなのひとにしらせる



## ウェルビーイングの土台となる「自立活動」

研究研修部主任 田中美成



今年度の研究テーマとなる「ウェルビーイング」は、かなり幅広い内容を含むものです。左図は、ウェルビーイングを本校の教育の中のどのよう位置付けるかを示したイメージ図です。

まずウェルビーイングを「自他の幸福」と捉えました。それに向かって、自己理解と他者理解を高めていこうというものです。この図の左側に示す「自己理解」とは、

ウェルビーイングの中の獲得的要素と言われるもので、自己肯定感や自己実現につながるものです。学校においては、自分らしさを創造していく過程と考えています。またこの図の右側に示す「他者理解」とは、利他性、協働性、社会貢献意識などの協調的要素と言われるもので、他者、場面、社会、文化など自分を取り巻くものを広く理解していく過程と考えています。

日本型のウェルビーイングでは、教育を通じてこの二つの要素を調和的・一体的に向上させることが求められています。学校では、自己理解を高めつつ他者と様々な関わりをもつ中で、自己理解と他者理解の双方を高めていこうと考えています。

そしてそれを支えるのが、図の一番下に示す「人権」「自立活動」「多様性」です。児童・生徒が安心・安全な環境で、多様な価値観や活動を経験し、自立活動の視点から障害への配慮や発達の支援を受けることが、ウェルビーイングの土台となると考えます。

そこでA部門では、自立活動の基本に立ち返って学びなおすことを6月の研究会で行いました。御存知

### 自立活動 6区分27項目

人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素

1 健康の保持

4 環境の把握

2 心理的な安定

5 身体の動き

3 人間関係の形成

6 コミュニケーション

のように、自立活動は、2つの要素－「人間として基本的な行動を遂行するために必要な要素」と「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素」－からなり、指導する内容は「1 健康の保持」「2 心理的な安定」「3 人間関係の形成」「4 環境の把握」「5 身体の動き」「6 コミュニケーション」の6つに区分され、全部で27の指導項目があります。

例えば、「字を書くことに難しさがある」という場合を考えると、その難しさの理由は1つとは限りません。手を動かすこと（5 身体の動き）に難しさがある場合もあれば、文字の形をイメージすることや空間の位置関係を理解すること（4 環境の把握）に難しさがある場合、また自信のなさ（2 心理的な安定）が影響している場合もあります。「難しさ」の背景に隠れている要因を6つの区分を通して理解し支援していくことは、ウェルビーイングには欠かせないことと考えます。

今年度は、児童・生徒の日常の姿をよく観察し、その背景要因を6つの区分で理解し、支援を考えるという研究活動を、学習グループごとに行う予定です。

## 夏季休業中に御家庭で取り組んでいただきたいこと

進路専任 長谷川 潤



御家庭で過ごす時間が普段よりも多くなるのが夏休みです。いつもはじっくりと向き合って話をする時間がない御家庭も、この夏休みに「進路」についてお子様と話し合ってみてはいかがでしょうか。話し合いをする中で、新たな発見なども出てくるかもしれません。また、御家庭ではできる限り家庭内の手伝いをさせてください。実態に合わせて少しでも行うことで必ず本人の力にもなりますし、習慣化することで本人の役割としての責任感が育ち、人の役に立つという働くことの意義を実感することに繋がります。

卒業後も朝早く起きて出かけるところから始まります。体調面にはくれぐれも気を付けていただき、働く上で大切な「生活習慣」を意識して過ごしていただきたいと思います。もしお時間が許すのであれば、施設見学などお子様と一緒に足を運ぶのもおすすめいたします。良い夏休みをお過ごしください。



## 第73回はたらく消防の写生会（知的障害教育部門 小学部高学年・中学部）

主幹教諭 吉岡 美佳



5月10日（金）に東京消防庁主催の「はたらく消防の写生会」を知的障害教育部門小学部高学年と知的障害教育部門中学部を対象に実施し、消防車の写生をしました。その際に描いた作品の中から、小学部より優秀賞1名・入選1名、中学部より優秀賞1名が入賞しました。8月17日（土）に表彰式が行われ、下記日程で入賞作品展が実施されます。

皆様にも是非御鑑賞いただければと思います。

### <入賞作品展>

日時 令和6年8月15日（木）から8月20日（火）まで ※月曜日は休館

10時00分から17時00分まで ※最終日は12時00分まで

場所 府中市美術館 1階市民ギャラリー

